

開腹手術を受けられる方へ

患者ID: 病棟: 主治医: 担当医:

氏名: 受持看護師:

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院	
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		体温・血圧・脈拍が安定している。 腸の動きが良く、ガスや便が出る。 傷から血や液が出ていない。		痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 吐き気がない。 病棟内歩行できる。		体温・血圧・脈拍が安定している。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点が理解できる。		
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	(主治医より)手術について説明します。 (麻酔医より)麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出してください。 						(看護師より)退院後の生活について説明します。 (主治医より)退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	 適時	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時 1,2,3,6時間後 それ以後翌日10時まで4時間毎(指示有り)	4回	4回	2回	1回	1回		
排泄	15時から尿量測定を 始めます。	尿量測定を続けます。		手術中、尿道カテーテルを入れます。		動けるようになったら尿道カテーテルを抜きます。 病棟内トイレまで歩きます。	尿量測定は15時で終了です。				
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰室します。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血があります。 朝、酸素投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。 朝・夕に抗生剤の点滴をします。	痛み止めがなくなれば背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 動けるようになれば弾力ハイソックスを脱いでかまいません。 	採血、採尿をします。	創部の抜糸をする場合があります。	(術後6日目)採血、採尿があります。 内診があります。		
準備	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯2~3枚 T字帯2枚 ナプキン1枚 すべて1枚ずつ、看護師がお預かりします。	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら弾力ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。							何でもご相談ください 	
投薬	手術のため内服薬をお預かりします。内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。 	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。 	10時より、腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 						
安静	制限ありません。			ベッド上安静にしてください。 膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きも変えてもかまいませんが、難しい時は看護師が介助します。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師がそばで見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内、制限ありません。	制限ありません。			
食事	制限ありません。	昼より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥です。 	昼から全粥です。	昼から普通食です。 			
清潔	入浴可能です。				体を拭いてお下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。 	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。 	シャワー-浴開始です				